

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立女性・勤労婦人センター	施設所管課	総合政策局 ダイバーシティ推進課
施設住所	尼崎市南武庫之荘3丁目36-1	竣工	S49.7.13(築満50年)
設置目的	女性の自立及び社会参加の促進、女子労働者の福祉の増進		
主な事業内容	・女性・勤労婦人センターの維持管理業務 ・利用の許可、使用料の徴収等に関する業務 ・設置目的の達成のための事業(啓発・就労支援、情報収集・提供、女性のための相談、団体等の育成)等		
指定管理者名	特定非営利活動法人 男女共同参画ネット尼崎	指定期間	自 R2.4.1 至 R7.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他( )

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）  
 啓発講座については、より人権への関心が高まるような講座の実施を企画する。  
 また、講座受講者とはもとより、貸室利用者についても満足が得られる施設管理運営を行う。

実施結果  
 啓発講座の受講者に対して実施するアンケートについて概ね9割が人権への関心が「高まった」「まあ高まった」と回答している。(指標②)  
 貸室利用者について、利用者アンケートの結果「施設全般の満足度」について概ね6割が「大変満足」「満足」と回答している。(指標①)

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①	「施設全般の満足度」に「大変満足」「満足」と回答した割合（単位：％） (※利用者（講座受講者及び貸室利用者）アンケートより) (※R2、R3は新型コロナウイルスの影響が大きく既存の利用者の割合が高かった。そのため、目標値はH28～R1の平均値61%から毎年1%づつ上昇とする)											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	62%	63%	64%	65%	66%	
実績	60%	60%	58%	64%	69%	78%	60%	67%	66%			
達成度	-	-	-	-	-	-	97%	106%	103%			
評価	-	-	-	-	-	-	○	○	○			

指標②	「講座に参加する前よりも『人権』への関心がさらに高まりましたか？」について 「高まった」「まあ高まった」と回答した割合（単位：％） (※啓発講座受講者アンケートより) (※目標値について、R3が86%のため、総合計画にあわせ当該年度より1%づつ上昇を目指す)											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	87%	88%	89%	90%	91%	
実績	-	-	-	-	-	86%	87%	92%	81%			
達成度	-	-	-	-	-	-	100%	105%	91%			
評価	-	-	-	-	-	-	○	○	×			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）  
 経費を効率的に低減するための工夫を行う。

実施結果及び評価  
 各種保守点検などを5年間で契約することで経費をおさえる工夫を行っている。突発的な修繕が必要になっても、利用者の安全を第一に考えて対応し、こまめに市へ状況を報告・相談が行われている。講座については、共催事業等の実施により単独で実施する以上に経費削減の効果を上げている。 ◎

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）  
 物品を購入する際には環境負荷の少ない商品を購入すること(グリーン購入)を推進する。また、環境配慮につながる取組を実施する。

実施結果及び評価  
 グリーンカーテンを設置し環境配慮に取り組んだ。敷地周りの除草、害虫駆除に加え、駐輪場と南側マシンの間、及び西側敷地に除草シートを敷き除草剤を散布しないで済むように環境へ配慮した。また年に2回花を植え替えた。再生紙の購入、裏紙使用、印刷機トナーはリサイクル品を利用している。古紙はゴミとして捨てずに回収業者に依頼し再資源化に努めた。 ◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとははいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	59,342,000	59,342,000	0	人件費	24,014,000	26,024,194	-2,010,194
				事業費	11,623,000	9,845,157	1,777,843
				施設維持管理運営費	16,323,000	15,724,935	598,065
				その他	7,382,000	7,731,932	-349,932
収入計	59,342,000	59,342,000	0	支出計	59,342,000	59,326,218	15,782

有効性

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	「市民の平等な利用が確保されるものであるか」「女性センターの効用を最大限に発揮させるものであるか」「女性センターの管理に係る経費の削減が図られるものであるか」「女性センターの管理を安定して行う能力を有しているものであるか」、今後、第5期の5年間、これまでの経験と実績を活かしつつも、時宜になかった地域課題解決に向けた新規事業の展開を図ることを期待する。
指定管理者自身が設定した目標	「ジェンダー平等と多様性を尊重する社会推進の拠点施設を目指して」を目標に、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に基づき、SDGsの目標5である「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」を重点的に行う。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	尼崎市の男女共同参画推進の拠点施設として事業を実施し、性別にかかわらず生きやすい社会の実現を目指すこと。						
目標指標	指標	「トレビエが男女共同参画を推進する施設である事を知っているか」に「はい」と回答した割合 (※利用者(講座受講者及び貸室利用者)アンケートより) (※アンケートの項目を追加したR2が76%、R3が78%のため、目標値は2%上昇の80%とする)					
	指定期間	R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価
	目標値	—	—	80%	81%	82%	積極的に周知しているが、割合がやや減少した。
	実績値	76%	78%	69%	72%	70%	

法令遵守	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正		
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正		
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正		
	個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正		
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正		
	施設経営状況	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正	
		指定管理者自身の経営状況は健全か	適正	
		危機管理—事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
			災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
			災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況—提案時及び年度当初の計画等のとおり業務を行ったか			年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
			選定時の提案内容が実施されているか	適正
			業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

関係性の構築

定例会議のほか、日々の細やかな連絡を互いに密にすることで、信頼関係が深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

・施設の老朽化に伴う建替等、今後の女性センターのあり方について、女性・勤労婦人センター運営委員会において意見聴取を行うとともに、庁内関係部局と連携し、指定管理者と意見交換を行うなど、女性センターの現状を踏まえながら検討することができた。  
 ・今後の女性センターのあり方に関連して、女性の多様な働き方の支援、就労場におけるL字カーブ解消に向けた具体的支援策について、指定管理者と協議することができた。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

男女共同参画の啓発では、男性のDV被害の現状を知るための講座を実施したほか、アンコンジャスバイアスに対する気づきを促す講座を市民とも協働して企画するなど、多様な分野の啓発講座を実施することができた。  
 就労支援は、M字・L字カーブの解消に向けてリニューアルされたマザーズハローワーク尼崎と協働して年代層別にキャリアリスタートを考える講座、フリーランス等多様な働き方を示唆する講座、就労継続のための保育施設入所準備講座等を開催した。また全国から寄贈された就職支援品は、今年度は困難な状況を抱える女性55人に就職活動用スーツ等の提供を行った。  
 助成金で実施した「女性のつながりサポート事業」は、様々な背景から心が傷ついた女性、就労や子育てによる閉塞感を抱える女性、自立援助の必要な女性など対象を絞り、交流しやすいうに配慮した居場所を提供した。女性センターで9回実施したほか、関係課と連携し、さらに地域の2ヶ所に出向き「ちるるカフェ」としてワークショップも含めた安心・安全な居場所を提供し、SDGsのジェンダー平等達成に向けた目標5に資する取組となった。  
 施設管理は、現状維持と利用者の安全を考慮し、別途、市が予算措置を講じるなどして修繕を行った。今後の女性センターの存続意義、あり方を考え、施設の建替え、移転等について引き続き市と協議をしていきたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

令和5年度より、コロナ禍を契機とし、孤独・孤立で不安を抱える女性が、社会との絆やつながりを回復できるよう女性の居場所「女性のつながりサポート事業」を実施している。令和6年度は、若年層、子育て中の女性、就労している女性というように対象を絞り、幅広い年齢層の方が参加できるよう工夫を行った。そのほか、女性の多様な働き方を支援するため「働き方に悩む女性のためのフリーランス入門セミナー」、再就職または継続就業をめざす小学生以下の子育て中の女性を対象にした「働く・働きたいママのタイムマネジメント講座」など、就労場におけるL字カーブの解消に向けた支援策となるような講座のほか、新たに学生のための自主学习スペースを開放し、若年層のセンター利用に繋げた。今後とも、若年層を含めた幅広い年齢層の方が女性センターを利用できるよう、指定管理者と協議していく必要がある。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

男女共同参画推進の拠点施設として、性別にかかわらず生きやすい社会の実現を目指して実施する各種啓発事業については、指定管理者が有するノウハウや企画力を最大限に発揮し、より効果的な事業となるよう、今後も指定管理者と市が協議を行い、協働して事業を実施していく。  
 施設の老朽化に伴う建替等に係る女性センターの今後のあり方について、附属機関の意見も踏まえながら、市と指定管理者とのパートナーシップのもと、ジェンダー平等を目指して、引き続き協議を重ねていく。

パートナーシップ



令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立地域総合センター神崎	施設所管課	総合政策局 地域総合センター担当
施設住所	尼崎市神崎町14-22	竣工	S58.7(築満41年)、H27.3(築満9年)
設置目的	・地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進 ・人権啓発意識の普及高揚の促進		
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと地域に対する市民活動の促進・支援		
指定管理者名	特定非営利活動法人 スマイルひろば	指定期間	自 R.2.4.1 至 R.7.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他( )

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

**施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）**  
 今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）  
 継続しているハンセン病問題については、岡山県長島愛生園の負の世界遺産の登録シンポジウムに参加する。中高生・子どもの居場所については更なる充実に取り組む。また、新たな人権問題・地域還元の事業に取り組む。

**実施結果**  
 長島愛生園を負の遺産とするシンポジウムに参加し、ハンセン病問題の根の深さを知ることが出来た。人権問題については「沖縄県人と戦争秘話」と題し、渡野喜屋事件の実態を聞き、戦争の悲惨さを知ることが出来た。また、月1回の割合で健康相談日を設け、健康に関する講演を開催することができた。新たな視点から人権問題に取り組む講演会として「こころ育む「いろ」のチカラ」も実施できた。

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

<b>指標①：各講座に係る利用者満足度（単位：％）</b>												
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	80%	85%	85%			
実績	-	-	-	-	-	-	95%	85%	85%			
達成度	-	-	-	-	-	-	119%	100%	100%			
評価	-	-	-	-	-	-	○	○	○			
<b>指標②：新たに取組んだ差別問題の講演会参加者人数（こころ育む「いろ」のチカラ）（単位：人）</b>												
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	60人	22人	50人			
実績	-	-	-	-	-	-	54人	22人	69人			
達成度	-	-	-	-	-	-	90%	100%	138%			
評価	-	-	-	-	-	-	○	○	◎			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

**①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか**  
 今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）  
 施設利用者に快適に利用してもらうため、挨拶の励行と親切な対応に努めるとともに施設面においては日常の見回りを重視し、状況把握と速やかな修理に努める。

**実施結果及び評価**  
 施設利用者に対する対応態度も利用者から喜ばれ、感謝の言葉をいただいている。また、劣化が激しいカーテンフックの取替を行う等、施設整備には、細心の注意を払った。 ○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

**②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか**

こまめな照明及び冷暖房のON・OFFを徹底するとともに、グリーン購入を積極的に取り入れる。

**実施結果及び評価**  
 こまめな照明及び冷暖房のON・OFFを徹底し、グリーン購入を取り入れることができた。 ○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	38,279,000	38,279,000	0	人件費	26,140,000	27,799,870	-1,659,870
				事業費	2,250,000	1,547,658	702,342
				施設維持管理運営費	6,152,000	5,605,204	546,796
				その他	3,737,000	3,311,698	425,302
収入計	38,279,000	38,279,000	0	支出計	38,279,000	38,264,430	14,570

有効性

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	施設の効用を最大限に発揮させるとともに、施設の管理を安定して行う。
指定管理者自身が設定した目標	地域の拠点施設として、地域住民の活動を支えるとともにあらゆる差別問題解消に向けた施設を展開する。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設						
目標指標	指標	「人権問題に対して無関心若しくは興味がない」と感じる市民の割合（％）					
	指定期間	R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価
	目標値			21.78	14.51	14.00	
	実績値	30.23	13.33	14.51	14.71	21.28	

適正性	<b>法令遵守</b>	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	<b>施設の経営状況</b>	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	<b>危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか</b>	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正	
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正	
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正	
<b>履行状況－提案時及び年度当初の計画等のおりに業務を行ったか</b>		
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正	
選定時の提案内容が実施されているか	適正	
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正	

**関係性の構築**  
 指定管理者と市所管課との月例会議以外にも、随時個別の意見交換などを行っており、課題を共有する。利便性のある施設を持つ小田地域課と連携した事業に取り組んだ。ダイバーシティ推進課が実施する調査にも積極的に協力するなど、関係機関との連携に努めた。

**協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）**

今年度、新たに取組んだこころ育む「いろ」のチカラ・セクハラとDVの人権問題講演会について、小田地域課と連携し、参加者も多く、アンケート結果から賛同を得たと考えられる。また、沖縄の文化を知ろうと題して、戦争末期に起きた「渡名喜屋事件」の体験談と合わせて古典音楽等を三線で奏でてもらった。次に、地域等との協働で、別室登校中学生の居場所として近隣農園で、草花の手入れや野菜の種まきから収穫まで、体験活動の場の提供ができた。次に地域活動として、「かんだぎよもやま話」「健康相談室」地域の方による「かごづくり教室」の開催するなど地域一体となった事業実施ができた。

**指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）**

利用者の利便を考慮する目的を含め小田地域課と連携を図った事業に取り組んだ。「子どもの居場所」としての施設に位置付けていることから浜小学校・小田北中学校と連携した。また、県立神崎工業高等学校の生徒と地域の子どもの触れ合いを促進するため「神工作業教室」の2回/年実施。施設維持管理については、「子どもの居場所」であることから社会ルールの礎としての役割を果たすための見守りを行った。また、アフリカから避難民として地域に移住された方のための日本語教室を新たに開設した。

**市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）**

ハンセン病問題への継続的かつ積極的な取組みや、新たな人権課題への取り組み、地域の実情に合わせて日本語教室を開設するなど、しっかり地域の課題に向き合っている。  
 今後とも市との協働や地域の各種団体との連携を強め、センターの設置目的の達成に向けて事業を実施してもらいたい。内部管理体制についてであるが、これから職員の入れ替わりが想定されるなか、今後の業務の継続や、指定管理者としての人材育成に意を尽くしてもらいたい。

**双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）**

これからも積極的かつ継続的に人権課題について取り組んでいく。  
 市との協働や地域の各種団体との連携を強化し、センターの設置目的の達成に向けて取り組んでいく。  
 内部管理体制については、マニュアルの充実や、データ及び文書の整理・共有化などをすすめるとともに、指定管理者としての人材育成に取り組んでいく。

パートナーシップ

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市地域総合センター水堂	施設所管課	総合政策局 地域総合センター担当
施設住所	尼崎市水堂町2丁目35-1	竣工	S49年(築満50年)、S56年(築満43年)
設置目的	・地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進 ・人権啓発意識の普及高揚の促進		
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと人権啓発意識の促進・支援		
指定管理者名	一般社団法人水堂総合センター運営委員会	指定期間	自 R2.4.1 至 R7.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他( )

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性	<b>施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）</b>											
	利用者アンケートを分析し、地域課題である高齢者の人権や福祉、身近なことをメインテーマとした講演会を開催して、より魅力的で満足度が高く、多くの方が利用したくなる取組をする。											
	<b>実施結果</b>											
	生前整理・遺品整理の「家じまいの作法」の講演は、高齢者の人権や福祉について考え、誰にも必ず訪れること、何から取り組むのか理解できたなど大変好評だった。「いのちの大切さを考える」の講演は、身近な子どもたちを犯罪被害者・加害者にもさせないために、地域でできること、子どもたちにも聞かせたいとの声があった。「認知症を知ろう・語ろう」では、具体的な介護施設のことに興味を持つ方も多かった。「グリーンケア」は参加者数は多かったが、内容が少し難しいようだったので、次年度より参加者ニーズにあった内容に取り組む。											
	<b>（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況</b>											
	<b>指標①：事業満足度（単位：％）</b>											
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	-	-	-	-	-	-	80%	85%	89%		
	実績	-	-	-	-	-	-	85%	89%	82%		
	達成度	-	-	-	-	-	-	106%	105%	92%		
評価	-	-	-	-	-	-	○	○	○			
<b>指標②：人権問題講演会参加者率（単位：％） ※計算式：参加者数÷募集人数</b>												
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	-	-	100%			
実績	-	-	-	-	-	-	129%	64%	86%			
達成度	-	-	-	-	-	-	-	-	86%			
評価	-	-	-	-	-	-	-	-	○			
◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）												
効率性	<b>①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか</b>											
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）											
	施設利用者に快適に利用してもらうために、施設の修繕に取り組む。											
	<b>実施結果及び評価</b>											
	本館集会室床がワックスによるべたつきがあり、利用者からも要望があったため、ノンワックスのシートに張替を行い、色目も明るい色に変更して、清潔感も向上し、より利用しやすい施設になるよう努めた。											
	市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）											
	<b>②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか</b>											
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）											
	こまめな電気の消灯や貸館利用後の冷暖房電源確認、物品購入の際には積極的にグリーン購入にしよう努める。											
	<b>実施結果及び評価</b>											
日常においては職員の節電・節水等を意識し、こまめな電気の消灯に努めながらも、貸館利用前に冷暖房を入れ、利用者が快適に過ごせるようにするとともに、利用後の冷暖房電源確認などを行った。また積極的なグリーン購入に努めている。												
◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している												
<b>（参考）経費の状況（単位：円） 税込</b>												
収入				支出								
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引					
指定管理料	45,440,000	45,440,000	0	人件費	33,813,000	30,726,999	3,086,001					
				事業費	2,789,000	2,569,317	219,683					
				施設維持管理運営費	6,768,000	7,198,967	-430,967					
				その他	2,070,000	2,065,300	4,700					
収入計	45,440,000	45,440,000	0	支出計	45,440,000	42,560,583	2,879,417					

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	総合センターの効用を最大限に発揮させるとともに、その管理運営に係る経費の縮減を図る。
指定管理者自身が設定した目標	利用者の安全とサービス向上を図り、利用者ファーストの運営を行う。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設						
目標指標	指標	人権問題に対して無関心もしくは興味がないと感じる市民の割合を指定期間中に減少させる					
	指定期間	R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価
	目標値	-	-	32.77%	32.77%	22.09%	
	実績値	32.77%	-	34.41%	22.09%	29.88%	

適正性	<b>法令遵守</b>	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	<b>施設の経営状況</b>	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	<b>危機管理―事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか</b>	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正	
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正	
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正	
<b>履行状況―提案時及び年度当初の計画等のおりに業務を行ったか</b>		
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正	
選定時の提案内容が実施されているか	要改善	
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	要改善	
<b>関係性の構築</b>		
月1回の意見交換会を行うほか、適時の報告・連絡・相談を互いに密にしている。		
<b>協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）</b>		
尼崎市立南武庫之荘中学校のボランティアクラブと連携して「子ども夏まつり」を開催。中学生に地域交流を体験してもらうとともに、小学生や幼児と触れ合っ、思いやりの心をはぐくむことが出来たと考える。また「もちつき大会」などを通じて地域交流の大切さと意識を高めた。尼崎市立花地域課と共催で、立花南生涯学習プラザにて、地域総合センター水堂の水彩画教室に受講しているプロダリストによる阪神・淡路大震災30年の節目として、「いのちの大切さ」をテーマとした震災の講話とギター演奏会を開催した。		
<b>指定管理の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）</b>		
人権啓発パレードでは、南武庫之荘中学校吹奏楽部、登録団体や一般の方、特に今年度は人権標語入選者（表彰リボン付）と、その保護者も、のぼりの掲揚や啓発グッズの配布と一緒にしていただきながら、センターからJR立花駅までパレードを実施した。立花商店街の方々には、アーケードに人権啓発パレードの横断幕を掲げていただき、見物客の整理などパレード進行のご協力を得て、人権啓発意識の普及高揚につながった。施設は、老朽化が進み修繕箇所が増えているため、安全性を考慮して取り組んだ。業務に関して、マニュアルを作成して内容が把握出来るよう進めてはいるが、日常から職員個人の業務の共有化や引継ぎが出来ておらず、更に職員の定着も図れていないため、経験不足による不備が生じている。地域への社会貢献や人権尊重に働きたいと感じてもらい、人員の充足と定着を図るとともに、個人の業務の共有化や引継ぎが出来るとなる仕組みをつくり、安定的に履行できるよう努めていきたい。		
<b>市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）</b>		
協働による事業の取組については、一定の成果をあげてきていると思われるので、引き続き努力していただきたい。管理運営体制については、市が選定時に提案のあった管理運営体制に関する改善方を求めたところ、指定管理者から見直しの提案を受けた。改善に向けての取組を進めているが、まだ十分な成果が出ているとは言い難い状況である。喫緊の課題として、引き続き取り組んでいただきたい。		
<b>双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）</b>		
電気料金等諸経費の高騰及び修理修繕については随時市と協議する中で対応していく。地元の各種団体との連携強化については、引き続き取り組んでいく。地域住民や利用者の意見も適宜聴取して分析し、市とも協議する中で施設運営に反映していく。管理運営体制については、喫緊の課題であるとの認識のもと、重点的に取り組んでいく。		

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立地域総合センター今北	施設所管課	総合政策局 地域総合センター担当
施設住所	尼崎市西立花町3丁目14-1	竣工	S46.3(築満53年)
設置目的	・地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進 ・人権啓発意識の普及高揚の促進		
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと人権啓発意識の促進・支援		
指定管理者名	特定非営利活動法人人権センター東今北	指定期間	自 R2.4.1 至 R7.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他( )

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性	<b>施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）</b>											
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）											
	指定事業の実施に当たっては、地域住民(市民)の参画を得ながら、より効果的に実施していく。											
	<b>実施結果</b>											
	主な指定事業である「地域交流文化祭」や人権啓発推進委員会に関わる事業など、企画段階から市民の参画を得て実施し、講座事業については、地域の特性から高齢者の多いことから、健康増進、保健衛生、本年度から防犯など安心・安全に関わる事業を新たに企画・実施し、地域住民のニーズに沿った事業を実施している。(指標①)。子ども対象講座は、多種多様な講座を企画しているが、応募者も多く、やむを得ず抽選する講座も増えている。関係5校への公募チラシ配布が結果として現れている(指標②)。現状をふまえ新たな子ども対象講座の種目拡大が必要と考える。											
	<b>(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況</b>											
	<b>指標①：全講座に関する受講率（単位：％）（計算式：申込者数÷定員）</b>											
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	-	-	-	-	-	-	82.14%	92.12%	106.57%		
	実績	-	-	-	-	86.16%	82.14%	92.12%	106.57%	132.75%		
達成度	-	-	-	-	-	-	112%	116%	125%			
評価	-	-	-	-	-	-	○	○	◎			
<b>指標②：子ども対象とする講座受講率（単位：％）（計算式：申込者数÷定員）</b>												
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	82.29%	102.86%	117.24%			
実績	-	-	-	-	86.44%	82.29%	102.86%	117.24%	176.40%			
達成度	-	-	-	-	-	-	125%	114%	150%			
評価	-	-	-	-	-	-	◎	○	◎			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

**①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか**

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）	
前年度の利用実績を踏まえて、より効果的な事業を実施することにより、利用者サービスの向上を目指す。	
<b>実施結果及び評価</b>	
老朽化している施設の設備においては、利用者の目線に立ち、また要望を聞き取る中で、市民が利用しやすい施設設備の修繕(本館1階蛍光灯のLED化及び陶芸窯の修繕)を図り、市民サービスの向上に繋がった。	○
市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)	

**②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか**

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）	
事業の準備手法を見直すなど、効率的な事業運営を目指す。物品を購入する際には、「環境物品等の調達に関する基本方針」に準拠し、適合する環境負荷の少ない商品を購入すること(グリーン購入)を実施していく。また、不要な電気の消灯等に努めている。	
<b>実施結果及び評価</b>	
事業スケジュールを一部見直すことで、事業実施の効率化を図った。日常においては、職員の節電・節水等を意識しながら業務を行い、利用者にも呼びかけ理解と協力を得ている。また、可能な限り印刷物での両面使用や内部資料の裏紙利用を推進している。	○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

**(参考) 経費の状況（単位：円）**

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	46,340,000	46,340,000	0	人件費	30,000,000	31,988,848	-1,988,848
				事業費	2,156,000	1,929,193	226,807
				施設維持管理運営費	11,084,000	10,931,960	152,040
				その他	3,100,000	2,507,642	592,358
収入計	46,340,000	46,340,000	0	支出計	46,340,000	47,357,643	-1,017,643

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	施設の効用を最大限に発揮させるとともに、施設の管理を安定して行う。
指定管理者自身が設定した目標	同和地区を含む地域の特性を最大限に発揮できる、コーディネーター役を果たし、地域プラットフォームになるように事業展開する。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設						
目標指標	指標	「人権問題に対して無関心もしくは興味がない」と感じる市民の割合(%)					
	指定期間	R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価
	目標値	-	-	36.65	35.00	25.23	
	実績値	38.46	36.65	35.00	25.23	24.60	

適正性	<b>法令遵守</b>	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	<b>施設の経営状況</b>	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	<b>危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか</b>	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正	
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正	
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正	
<b>履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとりに業務を行ったか</b>		
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正	
選定時の提案内容が実施されているか	適正	
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正	
<b>関係性の構築</b>		
指定管理者と市との月例会議以外にも、適宜、相談や調整を行っている。		
<b>協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）</b>		
市と月1回の意見交換会を行い事業を行ってきた。また、関連施設新転任職員研修をはじめ、尼崎市新規採用職員研修(人材育成担当)等の連携した人権研修会の実施、小集団学習グループ(社会教育課)の活動支援や学校関係においては、不登校児童への居場所づくり支援にも取り組んでいる。さらに、地域福祉の観点から、地域包括支援センターや社会福祉協議会といった、地域における重層的課題の解決を図る会議体に参加連携を図っている。		
パートナーシップ	<b>指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）</b>	
	これまで老朽化している施設の維持管理においては、利用者目線と管理運営の両面から、本館1階蛍光灯のLED化及び陶芸窯の修繕などの取組を進め、さらには安全面にも意識した維持管理を図ってきた。また、大規模修繕でも尼崎市と意見交換を行い状況を共有しながら協議を進めてきた。今後においても、老朽化が増していくことは必然であり、引き続き市との協議を重ね利用者の安全・安心を目指した維持管理に務める。	
	<b>市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）</b>	
施設の機能統合が遅延する中、市と適宜協議を重ね、利用者目線と管理運営の両面から、老朽化した施設の適切な維持管理に努めている。太鼓関連事業等の伝統のある事業について、一部、自主事業として実施する等、独自の取組も積極的に進めている。引き続き継続・発展に取り組んでほしい。		
<b>双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）</b>		
今後は指定事業全体については、着実に実施・推進していく。施設維持管理については、引き続き協議していく。		

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立地域総合センター南武庫之荘	施設所管課	総合政策局 地域総合センター担当
施設住所	尼崎市南武庫之荘11-6-15	竣工	S57年4月1日(築満42年)
設置目的	「地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進」「人権啓発意識の普及高揚の促進」		
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと人権啓発意識の促進・支援		
指定管理者名	公益社団法人尼崎人権啓発協会	指定期間	自 R2.4.1 至 R7.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他( )

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性	<b>施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）</b>	
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定） 長寿命化工事により施設が快適に使用できるようになったため、地域住民の来館者数を増やす事業を展開する。	
	実施結果 地域ボランティア団体と協働して、子ども食堂事業で、お弁当配布やフードパントリーなど状況に応じて取り組んだ。	
	<b>（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況</b>	
	指標①：アンケート等による利用者満足度（単位：％）	
	年度	H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8
	目標	- - - - - 84% 84% 84%
	実績	- - - 84% 85% 84% 81% 83% 90%
	達成度	- - - - - 96% 99% 107%
	評価	- - - - - ○ ○ ○
指標②：なかよし食堂 参加者（単位：人）		
年度	H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8	
目標(参加者)	- - - - - 1200 1200 1600	
実績(参加者)	- - 705 1223 654 1128 1684 1308 1723	
達成度	- - - - - 140% 109% 108%	
評価	- - - - - ◎ ○ ○	
◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）		
効率性	<b>①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか</b>	
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定） 長寿命化工事が終了し、来館者の利用環境を整備した(玄関・2階に移動式の机と椅子を常設)。	
	実施結果及び評価	○
	工事では休講していた各種講座を再開した。また、2階で行う青少年居場所事業として南武青少年クラブを実施した。4月～3月の登録者数は、小学生131人、中学生11人。一日の来館者数が20名近くあり、見守り対策として職員1名を配置している。小中学生の受入を推進するために、職員に子ども対応の研修を計画したい。 また、相談事業は職員が積極的に外に出向く訪問相談により、特に地域の高齢者の安否確認が行えるように、地域総合センターの広報活動の強化、市民サービスの維持・向上に努めている。	
	市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）	
	<b>②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか</b>	
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定） グリーン購入を実施するとともに、節水、不要な電気の消灯・照明の間引きに努めた。	
	実施結果及び評価	○
	不要な電気の消灯・照明の間引きを実施しつつも、利用者に不便を感じさせることがないように、効率性と環境に配慮した施設管理を両立した。このような取組は日常の館の管理に付随して行われるもので、効率性と環境面で評価すべきと考える。	
	◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとはまではいえない、×環境への配慮が不足している	
<b>（参考）経費の状況（単位：円）</b>		
収入(4月～3月実績)		
項目	予算額 決算額 差引	
指定管理料	45,244,000 45,244,000 0	
	人件費 29,148,000 29,439,495 -291,495	
	事業費 3,300,000 4,216,533 -916,533	
	施設維持管理運営費 9,406,000 13,570,815 -4,164,815	
	その他 3,390,000 4,941,636 -1,551,636	
収入計	45,244,000 45,244,000 0	
支出(4月～3月実績)		
項目	予算額 決算額 差引	
人件費	29,148,000 29,439,495 -291,495	
事業費	3,300,000 4,216,533 -916,533	
施設維持管理運営費	9,406,000 13,570,815 -4,164,815	
その他	3,390,000 4,941,636 -1,551,636	
支出計	45,244,000 52,168,479 -6,924,479	

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	地域総合センターの効用を最大限に発揮させるとともに、その管理運営に係る経費の削減を図る。
指定管理者自身が設定した目標	尼崎市における総合的な「人権センター」としての役割を目指す。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設						
目標指標	指標	人権問題に対して無関心もしくは興味がないと感じる市民の割合を指定期間中に減少させる					
	指定期間	R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価
	目標値			19.67	19.67	19.67	
	実績値	20.78	19.67	24.00	23.41	24.60	

法令遵守	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	<b>施設の経営状況</b>	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	<b>適正性</b>	
	<b>危機管理―事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか</b>	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正	
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正	
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正	
<b>履行状況―提案時及び年度当初の計画等のおりに業務を行ったか</b>		
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正	
選定時の提案内容が実施されているか	適正	
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正	
<b>関係性の構築</b>		
月1回の管理責任者会での意見交換会を行うほか、適時の報告・連絡・相談を互いに密にしている。		
<b>協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）</b>		
市民運動武庫地区推進協議会(武庫地域課)主催の令和6年度第20回武庫まつりの人権啓発コーナーでパネル展示を行った。武庫地区地域福祉ネットワーク会議の委員として、令和7年2月17日に「令和6年度つどいば全体会」を実施した。地元では、第1連協地区地域福祉会議において防災マップの更新を行うとともに、まち歩き支援など事務局活動を担当している。		
<b>指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）</b>		
長寿命化を目的とした整備工事が終了した。この間中断していた各種講座を再開した。令和5年度に実施できなかった地域総合センター運営委員会(4月23日)、講座発表会(7月13日)を実施した。来館者数の増加を目指して、青少年の居場所事業(4月～3月の南武青少年クラブの来館者数、小学生3,173人、中学生83人)、子育て世代の居場所事業(6月～3月の南武子育てクラブの来館者数、おとな14人、子ども23人)を開始して、地域総合センター事業のさらなる充実を努めている。市の新規採用職員等の研修会場としての利用があり、多くの方にセンターの所在地や施設内容の周知を図った。		
<b>パートナーシップ</b>		
<b>市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）</b>		
各種地元団体の構成員や、場合によっては事務局を担う等、積極的に地域の活動に関わっている。また、令和5年度実施の長寿命化工事により一時的に離れた利用者呼び戻すと同時に、新たに青少年の居場所事業等を実施して利用者の増に組み込み、一定の成果を挙げている。利用者の意向についてのアンケート調査などを活用し、更に魅力的なセンター事業となるとともに、尼崎市における人権センターとしての役割を意識しながら事業運営を期待する。なお、小中学生の利用が増加しているとのことであるが、安全・安心に利用できるよう、十分な配慮をお願いする。		
<b>双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）</b>		
地域住民の参画・連携のさらなる推進については、引き続き実施していく。定期的に実施している「地域総合センター運営委員会」を引き続き開催し、地域住民や利用者の意見を反映していくとともに、地域課題についても積極的に取り組んでいく。他の指定管理者と情報の共有や連携を深め、地域総合センター全体の質の向上に取り組んでいく。		

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立地域総合センター塚口	施設所管課	総合政策局 地域総合センター担当
施設住所	尼崎市塚口本町2丁目28-11	竣工	S49.8(築満50年),S55.10(築満44年)
設置目的	・地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進 ・人権啓発意識の普及高揚の促進		
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと人権啓発意識の促進・支援		
指定管理者名	株式会社ハウスビルシステム	指定期間	自 R2.4.1 至 R7.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他( )

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性	<b>施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）</b>																																																																																									
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）																																																																																									
	地域総合センターの基本的な事業である人権啓発事業及び地域交流事業について、より魅力的なものとなるよう、引き続き取り組む。																																																																																									
	<b>実施結果</b>																																																																																									
	人権啓発講演会について、部落差別をはじめとして、高齢者問題やアダルトチルドレン、障害のある方の暮らしやすい社会など、今までの課題にプラスして、新しく浮き彫りになった問題を取り上げ地域に伝えることができた。人権週間における街頭啓発キャンペーンや、新たに始めた大人の社会見学、昨年再開した歩こう会、地域の皆様の要望を受けての防災講座、救命AED講座などで多数の参加者を得た。																																																																																									
	<b>（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況</b>																																																																																									
	<table border="1"> <tr> <th colspan="13">指標①：職員の対応に関する利用者満足度（単位：％）</th> </tr> <tr> <td>年度</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>90%</td> <td>97%</td> <td>97%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>97%</td> <td>90%</td> <td>93%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>108%</td> <td>92%</td> <td>95%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>												指標①：職員の対応に関する利用者満足度（単位：％）													年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		目標	-	-	-	-	-	-	90%	97%	97%				実績	-	-	-	-	-	-	97%	90%	93%				達成度	-	-	-	-	-	-	108%	92%	95%				評価	-	-	-	-	-	-			○			
	指標①：職員の対応に関する利用者満足度（単位：％）																																																																																									
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																																																														
	目標	-	-	-	-	-	-	90%	97%	97%																																																																																
実績	-	-	-	-	-	-	97%	90%	93%																																																																																	
達成度	-	-	-	-	-	-	108%	92%	95%																																																																																	
評価	-	-	-	-	-	-			○																																																																																	
<table border="1"> <tr> <th colspan="13">指標②：講演会の参加人数(単位：人)</th> </tr> <tr> <td>年度</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>270人</td> <td>300人</td> <td>350人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>340人</td> <td>434人</td> <td>466人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>145%</td> <td>133%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>												指標②：講演会の参加人数(単位：人)													年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		目標	-	-	-	-	-	-	270人	300人	350人				実績	-	-	-	-	-	-	340人	434人	466人				達成度	-	-	-	-	-	-	-	145%	133%				評価	-	-	-	-	-	-	○	◎	◎				
指標②：講演会の参加人数(単位：人)																																																																																										
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																																																															
目標	-	-	-	-	-	-	270人	300人	350人																																																																																	
実績	-	-	-	-	-	-	340人	434人	466人																																																																																	
達成度	-	-	-	-	-	-	-	145%	133%																																																																																	
評価	-	-	-	-	-	-	○	◎	◎																																																																																	
◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）																																																																																										

効率性	<b>①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか</b>											
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）											
	人権啓発事業を充実させつつ、利用者アンケートを元に設備等の更新を昨年に引き続き実施する。											
	<b>実施結果及び評価</b>											
	経年劣化の為不具合のあったトイレの工事、また、換気扇のついていない全室への換気扇導入。地域の方々により使いやすくなるように、マガジンラックを2台新調、また、立て看板を導入することにより利便性の向上を図った。 ○											
	市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）											
	<b>②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか</b>											
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）											
	昨年度に引き続き、グリーン購入を実施するとともに、こまめな電気のON・OFFや空調機の適正な温度設定に努める。											
	<b>実施結果及び評価</b>											
適宜館内を巡回して状況を把握し利用者が快適に過ごすことができるよう努めるとともに、エコリーダー研修を基により一層、照明や空調をこまめにON・OFFして電気使用量を抑制するなど、概ね前記取組方針通りに取り組むことができた。 ○												
◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している												

<b>（参考）経費の状況（単位：円）</b>											
収入				支出							
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引				
指定管理料	43,304,000	43,304,000	0	人件費	19,892,055	16,416,415	3,475,640				
				事業費	3,300,000	3,137,584	162,416				
				施設維持管理運営費	13,913,360	13,550,005	363,355				
				その他	6,198,585	6,946,910	-748,325				
収入計	43,304,000	43,304,000	0	支出計	43,304,000	40,050,914	3,253,086				

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	総合センターの管理を安定して行うとともに、その管理運営に係る経費の削減を図る。
指定管理者自身が設定した目標	(基本方針)利用者(市民・地域住民)の視点に立ち、高い満足度が得られる管理運営を目指す。 ・人権啓発意識の普及高揚・魅力ある事業展開・市民福祉及びサービスの向上

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設						
目標指標	指標	「人権問題に対して無関心もしくは興味がない」と感じる市民の割合(%)					
	指定期間	R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価
	目標値	-	-	25.88	13.45	13.45	
	実績値	39.13	12.63	13.45	20.29	14.55	

適正性	<b>法令遵守</b>	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	<b>施設の経営状況</b>	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	<b>危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか</b>	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正	
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正	
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正	
<b>履行状況－提案時及び年度当初の計画等のおりに業務を行ったか</b>		
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正	
選定時の提案内容が実施されているか	適正	
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正	
<b>関係性の構築</b>		
定期的に意見交換会を行うほか、適時の報告・連絡・相談をお互いに密にしている。		
<b>協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）</b>		
防災意識が高まる中、尼崎市危機管理安全局と相談し防災講座を開催、尼崎北消防署の力を借り親子救命入門(AEDの使い方)講座も実施した。地域の健康チェックとして、尼崎市役所健康支援推進担当に依頼し出前検診を実施した。また、地区の人権啓発推進委員会、塚口本町社会福祉協議会と連携し塚口地区人権交流文化祭を開催した。		
<b>指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）</b>		
日ごろから地域の各種団体等との関係を深めるよう努め、人権週間の街頭啓発キャンペーンを地域一体となって開催できたことは、大きな成果と考える。また、啓発事業の開催も社会の多様性の歪みを考え、アダルトチルドレンの問題や車椅子利用者から見た安全な社会など新しい事業に取り組み好評を得た。地域との関係強化として、館として積極的地域の催事への参加、幼稚園・保育園などの行事への参加など地域への積極的なアプローチをかけて関係構築を行ってきた。 今後とも地域課題の把握に務めるとともに、関係団体との対話をより深め、更に効果的、効率的なセンター運営を進めていく。施設維持管理については、建て替えの時期の目途もつかない中、要修繕箇所が増加傾向にあるので、安全安心な施設維持について、市の協力をお願いしたい。		
<b>市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）</b>		
地元の各種団体や各機関との連携に努めた結果、人権週間の街頭啓発キャンペーンを再開するなどできた点は評価できる。センターの設置目的に鑑み、より一層、地域との関わりを深めることに取り組んでもらいたい。その他の事業についても、今まで同様、様々な実施手法等について研究してもらいたい。なお、今年度は多くの職員の変動等が発生したことは不安要因となるが、指定管理者(現場・本社)の体制整備については、引き続き、十分取り組んで貰いたい。		
<b>双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）</b>		
今後とも、地域の各種団体等との関係を深めるよう積極的に取り組む。啓発事業等の実施に当たっては、より効果的な手法の導入を検討する。施設の修繕については、利用者の安心安全を第一に、市と指定管理者で協議していきたい。		

パートナーシップ